

わがまち 高萩を支える 働き人



とがし かず き
富樫 一記さん(31歳・入社6年目)
大建工業(株)高萩工場
所属:製造課 仕上係

◆入社のかきつけと目標
自分は北茨城市の出身で、一度は大学進学のために上京したのですが、やっぱり地元に戻りたいと思って、帰郷することを第一に考えて就職活動を行いました。一度サービスを業を経験した後、まず平成22年に契約社員として現職に入社。2年後に社員登用制度で正規社員になりました。今は、木質繊維板(インシュレーションボード)の製造・加工の仕上係の組長を務めています。工場は24時間稼働しているので、仕事は3交代制です。共働きの嫁さんに家事・育児を任せてばかりで申し訳ないのですが、子供が小学校にあがるまでにマイホームを

いう目標を持って日々の業務を頑張っています。

◆高萩市での暮らし

都会は何をするにもお金がかかるし、人は多いし。たまに遊びに行く分には良いけど、住むのには自然が豊かな高萩の方が良いです。

結婚を期に高萩市内のアパートで暮らし始めました。嫁の実家が高萩で、母校の保育園に子供を預けたいということと、ネコが飼える物件だというのが決め手でした。双方の両親が近くにいと安心感がありますね。子供は3歳半ともうすぐ1歳の男の子が2人なので、もう少し大きくなったら趣味のサーフィンや釣りを一緒にできるかなあと楽しみにしています。

子育て環境に対して特に不満はなく、むしろありがたいなあと感じています。市には予防接種でお世話になったり、2人目が生まれた時にちよつと始まった新しい施策のおかげで『すこやかかべー券』がも

らえたのもありがたかったです。

◆高萩市に期待すること

「都会に憧れて地元を離れたが、実際住んでみると現実とは違った。」と感じる人は多いと思います。本当は地元に戻りたいけど仕事がないから戻れないという友達もいます。高萩市内に就職先が増えれば戻ってくる人も増えるのではないのでしょうか。



▲操作盤を確認する富樫さん

◆会社概要 Daikun

「人と空間・環境の調和をテーマに顧客本位の経営を行う」という経営理念のもと、再生資源等を主原料としたエコ素材を開発・製造し、一歩先ゆく快適な住まいの創造を目指している。高萩工場では、主に木質繊維板を製造。豊床材料・床下地材・内張財・ペット用品・避難所ボード等としての加工も行う。



大建工業(株)高萩工場
住所:高萩市赤浜160番地1
TEL:0293-23-6511

生涯現役 いきいき元気



前田 忠雄さん
(東本町・71歳)

”好奇心を持ちついで・若々しい気持ちでいること”

「毎日楽しく働かせてもらっています。働くことに生きがいを感じます！」と笑顔で話すのはシルバー人材センターで理事を務める前田さん。現場の第一線でも活躍する前田さんにとって、お客さんからの『ありがとう』という一言が、おかげできれいになりました」という言葉が一番嬉しいそうです。たったその一言が人の心を傷つけたり、暖めたりもする『言葉の力』を大切にしたい」という気持ちで、楽しみながらコミュニケーションを取っています。

前田さんの体力づくりの日課は、11年前に出会った愛犬・ポン太との散歩。毎朝、小一時間ほど関根川沿いを歩きます。朝の常連さんたちにあいさつしながら歩くときスツキリするので、最近は無理しない程度に距離や時間を調整しながら、健康や筋力アップに取り組んでいます。

もうひとつの日課は、家庭菜園をしている畑に顔を出すことです。野菜の成長を見るのが楽しみであり、日々の癒しになっています。収穫して友達にお裾分けするのも野菜づくりの醍醐味です。

「いくつになっても好奇心を持つこと・若々しい気持ちでいることを大切にしていきたいですね。また、常に問題意識を持って行動することを心がけています。これからも自分を成長させていきたいと思っています。」